

キンダーブック3 8月号



今月は文房具を海の生き物やボートに見立てました。自分が持っている文房具を観察し、ほかにはどんな海の物に見立てられそうか想像をふくらませてみましょう。海の生き物から、社会コーナーの飼育員さん特集につなげてみましょう。



ぜつめつしそうな いきもの

ねらい 絶滅しそうな生き物について知らせ、環境保護への興味関心を高めましょう。

まずは、2～3ページの動物たちに共通する困りごととは何か、子どもたちに問いかけてみましょう。子どもたちの意見を引き出した後にページをめくり、絶滅の危機にあることやその理由について確かめられるとよいですね。



ほかにも、さまざまな生き物が絶滅の危機に瀕していることを伝えます。「知っている生き物はある?」「絶滅させないためにはどうすればよいのかな?」などと問いかけ、意見を出し合う場にしましょう。

すでに絶滅してしまった生き物を紹介します。これ以上生き物が絶滅しないように、自分たちにはどのようなことができそうか話し合ってみましょう。動物たちを守ることや自分たちの生活を見直すきっかけにできるとよいですね。



しいくいんさん



ねらい 飼育員さんが生き物のために配慮していることについて、気づいたことを話し合みましょう。

つかい方のポイント 水族館の飼育員さんは、水族館の生き物たちが心地よく暮らすために、多岐にわたる仕事をしていることを伝えます。生き物に合わせて給餌や掃除の方法を変えていることにも着目できるとよいですね。



おつきみ



ねらい お月見の意味を知らせ、十五夜への興味関心を高めます。

つかい方のポイント お月見では、お供え物に秋の実りやだんごを飾り、収穫の感謝や豊作の祈りをささげていることを伝えましょう。また、月の模様の見立て方が国によって違うことも知らせ、そこから月への興味につなげてみましょう。

「キンダーブック3」を保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
しぜん 観察力を養い 探究心を育む 「ぜつめつしそうな いきもの」	- 絶滅危惧種ということばを知る。 - 生き物を守るために、自分たちができることを考える。	- 誌面をつかって、絶滅危惧種ということばを説明する。レッドリストについても表をつかって知らせ、地球上でどれくらいの生き物が危機にさらされているのか伝える。 - 毎日の生活のなかで、生き物を守るために自分たちは何ができそうか考えられるようにする。	言葉 健康 環境	- 自然との関わり・生命尊重 - 思考力の芽生え - 道徳性・規範意識の芽生え - 社会生活との関わり - 言葉による伝え合い
きょうじ 季節を感じ日本の文化にふれる 「おつきみ」	- お月見の意味を知る。 - 月見だんごを作る。	- 誌面を用いて、お月見の収穫への感謝と豊作の願いについてわかりやすく伝える。 - 自分たちで月見だんごを作れるように計画を立て、調理に必要な道具を準備する。また、だんごの数やどのように置いて飾るのか子どもたちが興味をもって調べられるよう、写真や絵本も用意する。	言葉 環境	- 言葉による伝え合い - 自然との関わり・生命尊重 - 思考力の芽生え

シールコーナーは
社会コーナーと
連動した
水族館シール
です!

